



## 雲ノ平山行

### 1日目 折立～太郎平小屋

7月30日(月) 新潟 新津(5:00) 米山SA(6:20) 立山IC(8:25) 折立(9:40)  
 折立(10:05) 三角点(11:45～12:20) 五項岩ベンチ(13:50) 太郎平(14:50)

\*リーダー 野村 \*サブリーダー 坂井 \*記録 大湊 \*会計 石津 \*他5名

今年の夏山登山は三年間温め続けてきた計画で、2005年は太郎平小屋まで来たが、台風の為にやむなく断念した。昨年は、なかなか梅雨が明けずに大雨のため断念した。今年は、また断念しなければならないのかなぁと思った、中越沖地震で柏崎地域のみなさんに申し訳ないが、決行することにしました。

7月30日(月)午前6時に栄パーキングで新津組と新潟組み合流し、ここで朝食かと思ったが、お店がまだ開いていないので米山パーキングで朝食をとり、途中長岡過ぎたところから片側通行や対面通行で、道路は段差とひび割れで北陸道が荒れていました。地震の爪あとがはっきりと分かり、被災されたみなさん、本当にご苦労さんです。立山ICで降りて有峰有料道路へ向かい、途中最後に泊まる宿を確認すると、亀谷ゲート(料金所:往復1,800円)有峰有料道路は工事中で一方通行が数回、トンネルは電気も点いていないトンネルがいくつもあり、慎重に行く到有峰湖展望台、さらに高度を上げると折立駐車場到着(9:40)



【薬師岳登山口 安全祈願】



【三角点 まだ余裕の表情】

郎平小屋に到着する。途中木の枠の中にギッシリ石を並べた石畳の道や心材を使って作られた木道など、よく整備された登山道だろう。

14時50分、太郎平小屋に到着まずは外のベンチにビールで乾杯としたいが寒いので部屋で6畳9人部屋にてキャンプしました。明日は快晴の予感、富山平野、その向こうに能登半島に夕日が沈みまた素晴らしい。

10時05分「今回の登山が何事もなく楽しく過ごせませうように」折立(1,365m)を出発する。約2時間の急登太郎坂が三角点まで続く、美しい樹林帯、最初は歩き易い緩やかな登り、30分過ぎたところから上下を繰り返す、大木のダケカンバを過ぎた頃から急登が続くと一気に前方が開けベンチがある、標高1,870mの三角点に到着、ここで昼食をとるが、展望は、イマイチ本来は、薬師岳が見渡せる絶好の場所だがガスっていて見えず。下の写真は帰りの三角点で撮った写真で晴れていればこのようにすばらしい風貌だ。

三角点を過ぎると草原が主体の道に変わる。緩やかな草尾根の登りだ。三角点から約2時間30分で太



# 雲ノ平山行

## 2日目 太郎平小屋～黒部五郎岳～三俣山荘

7月31日(火) 太郎平小屋(4:30) 北の俣岳(6:15) 黒部五郎岳(9:45～10:30) 黒部五郎小屋(12:15～12:50) 三俣蓮華岳(15:10) 三俣山荘(16:00)

7月31日(火)午前3時30分ごろ物音で目が覚めた。昨日いただいた朝食のおにぎり、昼食のキマチ・水(2ℓ)リュックに詰めかなり重くなった。昨日の山談義でお酒を減らしたが、また増えてしまった感じです。4時30分太郎平小屋を出発まず太郎山へ、緩やかに登って行く、太郎山全体が大草原でお花畑色んな花が咲き乱れていました。そうそう、ここでみなさんに紹介します。

小野寺さんの山友達・山スキー友達の紅一点樋口さんです。彼女は沖縄県出身で、持ち前の明るさと、声の通が良く元気をもらいました。私たちと直ぐに馴染み、そして色んなものに感動していました。基本的には山女ではないか？野草の名前がスラスラ出てくるし感動していましたし、なかなか花の名前が覚え悪く、気もなく、メゲズに言っていました。その成果が、風間さんの感想文であらわれています。



【ダイモンジソウ】



赤木岳(2,622 ㍎)を含みいくつかのピークを超えて登る、中俣乗越を過ぎてしばらくすると、急登が始まる、ここが一番の頑張り時だ、振向くと北ノ俣岳

(2,661 ㍎)から歩んできた稜線がグリーンと眼下に低く見えるようになって、なおも登り続けると黒部五郎岳の肩に出る。肩にザックを置いて10分ぐらいに黒部五郎岳(2,840 ㍎)の山頂へ。360度の大展望です。

絶好の快晴の天候に恵まれ私の登山人生のなかで最高の感動でした。又、今迄はただ早く頂上を目指していたものが、今回高山植物に感心持つようになり、登山の楽しみ方が、また一つ増えました。

風間

### 槍・笠・鷲羽・水晶・立山・劔・薬師、遠くに乗鞍・木曾御岳・白山

まで、見渡す限りの絶景で、足元には広大な黒部カールが広がっています。満足の中に、黒部カールに下り、カール中は弁天地だ！雪渓がたくさん残っており、至る所から雪解け水が流れて出している。

#### 【黒部カール】



カールで余り休憩を取らなかったのが、黒部五郎小屋では、35分の昼食となりキマチご飯は、美味かったです。

この小屋は絵になるような美しく、周辺はコバイケソウが咲き乱れていました。

小屋から黒部乗越へ向かう道は、急登だ！午後なので日差しも強い。





【三俣山荘からの撮影】

今回の山行でいちばんハードな行程なので疲労もピークに来ている様子が窺えた、巻き道へ行くのか又は、三俣蓮華岳へ行くか問われた。みんなは、ゆっくりでも登るとの事でしたので、一步一步足を進めた。ハイマツ帯の中を登り切れば双六岳分岐、直ぐ三俣蓮華岳(2,841 ㍎)に到着。信州・飛騨・越中を分ける山である。山頂は北アルプス屈指の展望台だけの事がある。

蓮華岳からお花が咲き誇るガレ場を急降下、ハイマツ帯を抜けると三俣山荘 16:00 到着。無事に歩きとせることが出来て安堵した。ここでは、天候もよく槍・鷲羽を見ながらビールで乾杯だ！！

なんと感度的な贅沢な雲間から夕日に照らされ赤く染まる槍ヶ岳であった。

## 雲ノ平山行

3日目 三俣山荘～鷲羽岳～水晶岳～雲ノ平山荘

8月1日(水) 三俣山荘(4:30) 鷲羽岳(5:50) ワリモ北分岐(6:50) 水晶小屋(7:55) 水晶岳(9:00)  
水晶小屋(9:40) 祖父岳(11:40) 雲ノ平山荘(13:40)



【三俣キャンプ場付近からの撮影】

【鷲羽池と槍ヶ岳】

昨夜の疲れもあり良く眠れた、4時に起き弁当をザックに詰めて4時30分出発、鷲羽岳山頂までの急登、急でザラザラのジグザグ、ハイマツ帯も無く岩ばかり、中腹になり傾斜が増す、まもなくピークに着き 鷲羽池と槍ヶ岳が素晴しかった。傾斜が緩むと鷲羽岳山頂(2,924 ㍎)この日は風が強く肌寒いので、山頂での朝食は止めて、ワリモ乗越付近で朝食をとったが、ここでも風が強く敷きマットが飛ばされて難儀した。

KN山の会の皆さん大変お世話になりました。私にとって生涯思い出になる山行でした。今は達成感と幸福感でいっぱいです。特に急登で苦しいときでも紅一点の樋口さんの笑い声に癒され、又雷鳥さんをはじめ会員各人のキャラクターに山行中笑いの絶えない毎日でした。

この感動は酒田に帰っても当分さめないだらうなあ

小野寺





【水晶小屋】

若いころからの夢が最高の形で叶いました。  
素晴らしいメンバーと登れて本当に良かったです。  
ありがとうございます。

坂井

雲ノ平は、北アルプスの中心で周囲を黒部源流に取り囲まれ約4km高原(溶岩大地)である。その内部は幾つかの庭園名で呼ばれて、池塘や形の良い火山岩、高山植物など点在する。標高は2,500mです。



【雲ノ平スイス庭園】

【雲ノ平山荘】

北アルプスの長大な稜線にそびえる山々の素晴らしい展望と壮大な花畑を見ることができ、山旅の疲れを忘れさせ癒された縦走登山であった。

石津 淳二

7時55分水晶小屋に到着 今年小屋の前でヘリが墜落したようすは窺えず、出来立てホヤホヤ小屋営業 10日ほどだそうです。小屋の前でお湯を沸かしてコーヒタイムで冷えた身体温まりました。

小屋の裏手にザックを残し水晶岳へ向かいました。事前に別の団体のリーダーが、この山は、ストックを持って行くと登りにくいので置いて行くようにと言っていましたので、私たちも置いて助かりました。

9時00分水晶岳(2977.7<sup>㍎</sup>)山頂は、狭く油断すると滑落しかねない場所だ！360度の展望 北アルプスの中央に立ち風は冷たいが、気分は爽快です。



【水晶岳山頂】

#### 雷鳥の話

ここに出てくる雷鳥は、食後の御通じが大変よく、雲ノ平に向かう途中にも要したもので、ハイマツの茂みにもぐりこんだつもりが、ハイマツの中から身体が出ているので、四方八方から見られた。丁度雷鳥がハイマツの中から頭を出してチヨロチヨロしている感じに似ていたもので、みんなの話題になり、思い出ただけでもオカシクテ・それで雷鳥さんになった話。



# 雲ノ平山行

4日目 雲ノ平山荘～薬師沢小屋～折立～白樺ハイツ

8月2日(木) 雲ノ平山荘(4:35) 薬師沢小屋(6:35～7:20) 太郎平小屋(9:30～11:30) 三角点(13:05)  
折立(14:20) 白樺ハイツ(15:20)



【薬師沢出合と小屋】

昨夜は、台風5号が接近しているとの事で、他の団体やグループは、計画変更に躍起になっている様子が伺えたが、私たちは、あと下山するばかりで、豪雨にならない限り心配なかった。

四日間歩き疲れました。

雷鳥(長沢)

4時35分 雲ノ平山荘を後にし、何度も水晶岳を振り返り、アラスカ庭園から薬師沢出合までの悪路を、550㍍下って、約410㍍の登り返しは大変でしたが、お花畑が多く、楽しませてくれました。

みなさんと素晴らしい山行できてたのしかったです。ありがとうございました。

ゲストメンバー樋口

9時30分太郎平小屋に到着 台風の影響か？風が強く外では昼食をとることが出来ない所以小屋でうどんを注文し大休憩、11時30分下山開始。早く温泉に入って汗を流したい気持ちと、いつまでも山を眺めたい気持ちが交差する。

14時20分折立で到着、天候に恵まれて、アクシデントも無く「雲ノ平山行は大成功」気持ちのよい達成感を感じています。

反省点 長丁場の場合、お酒・つまみ等は、細部点検が必要です。以上ありがとうございました。野村

昨年、一昨年と台風・集中豪雨で行くことが出来なかった今回のコース、三年越しの山行となり、今年は終日晴天に恵まれてやっと実行することが出来ました。

初日と二日目の午前中、筋肉痛と体調不良でメンバーのみなさんに迷惑をかけてしまいましたが、無事山を降りることが出来ました。

さすがに北アルプスのヘソと言われるだけあって、360度何処を見ても山ばかりで、山岳雑誌の写真と同じ風景の中に自分が居ることに不思議な気持ちと、ここまで来たんだと言う感動を覚えました。

もう一度、来れるかどうか分からないコースなので、しっかりと目に焼き付けて来ました。計画してくれた、リーダー、サブリーダー、メンバーのみなさん、大変ありがとうございました。

田澤 忍



【キヌガサソウ】

三年越しの雲ノ平山行がついに実現しました。それもこれ以上ない好天と眺望に恵まれ感動の毎日でした。そこで、メンバー全員に一言コメントをいただくことにしました。

4日間、見るものすべてに感動しました。私の生涯の宝として心に焼き付いています。また、留守を守って下さった 家族に感謝いたします。

大湊